

感 染 症

相双地域感染症発生動向調査週報(2025年第19週)

(令和7年5月5日～令和7年5月11日)

令和7年5月15日

定点報告(上段:定点当たり／下段:報告数)、全数報告(報告数)		2025年					2024年 合計	2023年 合計
区 分	疾 病 名	16週	17週	18週	19週	合計		
定点報告	インフルエンザ	7.33	2.33	4.33	1.67	—	—	—
		22	7	13	5	1,213	1,616	2,660
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2.67	2.00	0.67	—	—	—	—
		8	6	2	0	820	3,622	2,663
	RSウイルス感染症	3.50	1.50	3.50	—	—	—	—
		7	3	7	0	71	309	425
	咽頭結膜熱	1.00	0.50	—	—	—	—	—
		2	1	0	0	33	337	129
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	2.00	—	0.50	—	—	—
		4	4	0	1	131	657	237
	感染性胃腸炎	3.50	9.00	4.00	2.50	—	—	—
		7	18	8	5	379	610	988
	水痘	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	2	6	1
	手足口病	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	5	952	129
	伝染性紅斑	2.00	1.50	—	0.50	—	—	—
		4	3	0	1	18	0	8
	突発性発しん	—	—	—	0.50	—	—	—
		0	0	0	1	35	182	266
	ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	19	319
	流行性耳下腺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	8	13	15
	急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	1	9	13
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1.00	5.00	—	1.00	—	—	—
		1	5	0	1	9	1	3
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	1.00	—	—	—
		0	0	0	1	3	16	1
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ入院	—	1.00	—	—	—	—	—
		0	1	0	0	14	19	10
	新型コロナウイルス感染症(入院)	—	2.00	1.00	—	—	—	—
		0	2	1	0	23	120	19
	急性呼吸器感染症(ARI)	61.00	64.00	72.00	48.00	—	—	—
		183	192	216	144	866	—	—
全数報告	百日咳	2	0	2	3	9	0	0

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

定点把握疾患	<u>インフルエンザは今後の動向に注意が必要です。</u>
全数把握疾患	<u>百日咳 3名（学童1名、10代2名）</u> の報告がありました。

インフルエンザ	相双地域は前週と比較して減少しており、県(県内総数)は前週と比較して横ばいで推移しています。 県(県内総数)ではインフルエンザB型の報告が過半数を占めています。 今シーズンで既に罹患した方でも再び感染することがあるため、引き続き体調管理に留意するとともに、手洗いや定期的な換気等、基本的な感染対策をお願いします。
新型コロナウイルス感染症	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しました。 インフルエンザと同様、体調管理や基本的な感染対策をお願いします。
伝染性紅斑	相双地域は前週と比較して増加しています。県(県内総数)は前週と比較して減少していますが、警報は続いています。 伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。感染経路は飛沫感染や接触感染で、約10日の潜伏期間の後、発しんが両頬から体・手・足に拡がります。予防には手洗いや、マスク着用等の咳対策が必要です。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	本県では直近3週で報告が続いており、報告が多かった昨年と同程度で推移しています。 劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、血液、筋肉、肺等に侵入したレンサ球菌が、まれに急激な症状の悪化を来す感染症です。初期症状には、発熱、悪寒、四肢の痛み、傷の発赤、腫れが見られます。急速に症状が進行した際は、直ちに医療機関を受診してください。
百日咳	百日咳(全数報告)については、本県で25名報告がありました。報告数が非常に多い状況が続いているため、引き続き感染状況に注意が必要です。 百日咳菌によって引き起こされる、激しい咳を伴う病気です。特に乳児では重症化のおそれがあり、早期のワクチン接種を推奨します。乳児のいる家庭では、保護者を含めた家庭内の感染に注意しましょう。 感染経路は飛沫感染や接触感染とされており、手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策が有効です。
急性呼吸器感染症(ARI)	相双地域及び県(県内総数)ともに前週と比較して減少しました。 急性呼吸器感染症(ARI)※が令和7年4月7日から感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点把握の対象となりました。 ※急性呼吸器感染症:急性の上気道炎又は下気道炎を指す病原体による症候群の総称。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス等が含まれる。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2025年第19号